

「市民が誇りを持ち、誰も置き去りにしない、 優しさに満ちたまち」をめざして

6月28日に第2回函館市議会定例会で行った、市政執行方針と教育行政執行方針について、内容を要約して紹介します。（執行方針全文は市HPをご覧ください。）



HP

市政執行方針



市長 大泉 潤

まちを歩き、市民の皆様の声に耳を傾けるなかで、改めて気づいたことがあります。それは、まちを思う気持ちだけではなく、現状に危機感を持つ方がとても多かったこと

であり、私は、そのような声を受け止め、市民一人ひとりに温かく寄り添う行政を推進し、誰も置き去りにしない、優しさに満ちた函館をつくり上げていくため、新たな一歩を踏み出してまいります。

世界情勢を背景としたエネルギー価格や物価の高騰など、今後の社会情勢を見通すことは困難な状況であります。生活に不可欠な行政サービスが当たり前前に享受され、

誰もが幸せを実感し、満ち足りた気持ちで暮らすことができるよう努めてまいります。

まちの活力を維持・発展させ、いつまでも住み続けたいまち、選ばれるまちであるため、喫緊の課題である人口減少への対応に総力を挙げて取り組むべく、私が本部長となる「人口減少対策本部」を設置し、総合的かつ効果的に対策を進めてまいります。

地元企業の活性化に向けた取り組みの推進はもとより、本市での起業を全面的に応援する体制づくりや高等教育機関が充実している利点などを生かした企業誘致のさらなる推進など、魅力ある雇用や仕事の創出に力を注ぎ、活気あふれるまちの再生に取り組んでまいります。

また、これからの時代を担う子どもたちの未来を守り、自分らしく生き生きと、健康な身体と豊かな心を育むことができるよう、成長段階に応じたきめ細かな支援を行うなど、地域で子どもを安心して育てていくことができる

環境の整備を進めてまいります。

施策を推進するにあたり、

- 子どもたちの未来を守ります
- 医療、福祉、暮らしを支えます
- 経済・観光を再生します
- 文化・スポーツ振興で未来を育みます

の4つの分野にわたり、市政運営に取り組んでまいります。



函館には、世界に誇れる宝が数多くあります。そして、新たな価値を見だし、磨きあげていくのは私たちです。眠っている地域の魅力を全て集め、大切に育てていくことで、それぞれの分野でより輝きが

増し、それが多くの人の心をひきつけ、まちのステータスが高まっていく。世界が目を見せないまち、地域に自信と誇りを持つまちを市民の皆様とともにつくりあげてまいります。

HP

教育行政執行方針



教育長 藤井 壽夫

教育委員会として令和5年度に重点的に取り組む施策について申し述べます。

変化する社会において、子ども一人ひとりの生きる力を育成するため、ICTを活用した授業改善を進めるとともに、非常勤講師や特別支援教員、スクールカウンセラー等の各種人材を配置し、きめ細かな指導、多様な支援の充実を図ります。

また、北海道教育センター内に「サポートベース函館」を新設するとともに、学校の「校内サポートルーム」を支援し、不登校など児童生徒が抱える諸問題の解決に向けて組織的に取り組めます。

このほか、学校給食の食材購入費の支援や就学援助の拡充により、保護者の負担軽減を図ります。

地域とともにある学校づくりを進めるため、地域コーディネーターの配置を拡充し、地域学校協働活動の充実を図ります。

さらに、本市の子どもたちが、少子化の中でも将来にわたりスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保できるように、部活動の地域移行に向けた検討を進めます。

心の豊かさを育む文化芸術を振興するため、活動団体への支援制度を新設するほか、旧ノ島遺跡の案内窓口や大船遺跡の散策路を整備し、受入体制の充実を図るほか、（仮称）総合ミュージアムの整備に向けた検討を進めます。

健やかな心身を育む運動・スポーツを振興するため、障がい者や高齢者を含むすべての市民がアクセスしやすく、自分に適した運動やスポーツに出会うことができる環境を整えるため、はこだて市民健康実用委員会に参画するほか、アーバンスポーツ等の普及・振興に向けた検討を始めるなど、スポーツ・レクリエーション活動の一層の推進を図ります。

■各会計補正予算案

| 区分 | 令和5年度 | | | 対前年比率 伸 |
|------|---------------|-------------|-------------|------------|
| | 既決予算額 (万円) | 補正額 (万円) | 計 (万円) | |
| 一般会計 | 1,446億 607 | 42億3,265 | 1,488億3,872 | 8.3% |
| 特別会計 | 991億6,383 | 10億7,954 | 1,002億4,337 | 7.1% |
| 企業会計 | 495億 197 | 1億1,537 | 496億1,734 | 2.1% |
| 合計 | 2,932億7,187 | 54億2,756 | 2,986億9,943 | 6.8% |

6月補正予算では、新規事業などを中心に、政策予算を編成することとし、直ちに実施しなければならないものや、一定の時間を要するものでも、実施可能なことから取り組んでいくこととしました。

このたびの補正予算案は6月28日から開かれている第2回市議会定例会に提案しています。

■補正予算案の主な内容

1 子どもたちの未来を守ります

- 第2子以降保育料無償化準備経費 88万6千円
- 小学校入学祝金給付準備経費 856万4千円
- 地域放課後児童健全育成事業費 3,324万円
[学童保育料軽減額 月額5,000円 → 6,000円]
- 私立学校運営助成費 4,157万4千円
[生徒1人あたりの助成額 30,000円 → 42,000円]
- 私立専修学校運営助成費 646万2千円
[生徒1人あたりの助成額 30,000円 → 42,000円]
- 保育士等確保対策事業費 133万円
- ヤングケアラー実態調査費 340万円
- ヤングケアラーシンポジウム開催経費 100万円

2 医療、福祉、暮らしを支えます

- 看護系大学等設置検討調査費 30万円
- 介護人材地域定着対策事業費 213万8千円
- 介護人材養成活動支援事業費 150万円
- 南茅部病院移転新築基本計画策定業務委託経費 600万円
- がん対策推進事業費 918万9千円
- 医療用ウィッグ購入助成事業費 210万6千円
- 町会活性化推進事業費 79万5千円
- 町会備品設備整備費補助金 60万円
- 町会会館建設費等補助金 250万円
- 地域安全安心促進交付金 87万円
- 公衆浴場経営安定化事業補助金 821万円
- 公衆浴場設備整備事業補助金 150万円
- 湯川団地共同浴場関係経費 2,871万6千円
 - ・市営住宅共同浴場設置事業費 2,019万3千円
 - ・共同浴場運営経費ほか 852万3千円
- 地域猫不妊去勢手術費補助金 158万円
- 特殊詐欺被害防止対策機器購入費補助金 100万円

- インクルージョン推進経費 40万円
- 市長と女性の意見交換会開催経費 30万円
- 空家等実態調査費 2,057万円
- 消費生活センター移転関係経費 480万5千円

3 経済・観光を再生します

- 新幹線函館駅乗り入れ検討調査費 3,773万7千円
- 天然コンブ資源回復緊急対策事業費 5,000万円
- ウニ蓄養試験調査事業費 936万3千円
- 農業法人参入支援事業費 374万2千円
- E C活用支援事業補助金 250万円
- 奨学金返還支援事業費 288万4千円
- はこだてエリア企業採用情報発信支援事業費 336万5千円
- 企業誘致推進費 1,650万円
 - ・立地環境調査補助金 150万円
 - ・地方拠点開設支援事業補助金 500万円
 - ・サテライトオフィス等整備事業補助金 1,000万円
- 新エネルギーシステム等導入補助金 [補助件数の増] 1,400万円
- 地球温暖化防止対策費 306万7千円
[省エネ家電購入促進事業の実施]
- ふるさと納税関係経費 4億2,640万円
[寄附金の増加を図るため各種プロモーションを強化]
- 観光地域づくり法人関係経費 70万円
- 海外観光プロモーション実施経費、函館空港利用促進関係経費 1,141万1千円
[プロモーションの強化、欧米市場の動向調査]
- 南茅部地域世界遺産活用支援事業費 573万7千円

4 文化・スポーツ振興で未来を育みます

- (仮称)総合ミュージアム整備推進費 100万円
- 文化芸術活動促進補助金 448万8千円
- アーバンスポーツ等普及振興事業費 20万円
- 「令和2年度成人祭」代替行事経費 110万円

令和5年度補正予算案の主な施策（新規・拡充など）

第2回函館市議会定例会に提案した令和5年度に予定している事業の中から、主な事業を紹介します。

※**新**は新規事業

子どもたちの未来を守ります

新 第2子以降の保育料

完全無償化に向けた準備
89万円

令和6年度から第2子以降の保育料を完全無償化するため、既存システムを改修します。

新 小学校入学祝金の支給に

に向けた準備
857万円

令和6年度から小学校に入学した子どもに対して、入学祝金を支給するため、システム構築等の準備を行います。



学童保育料の軽減拡充

33324万円

児童1人あたりの軽減額を引き上げ、保護者負担の軽減を図ります。

（学童保育料軽減額）
月額5千円↓6千円）

私立学校・私立専修学校への

運営助成の拡充

4千804万円

生徒1人あたりの助成額を引き上げ、教育環境の充実を

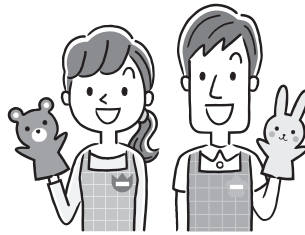
図ります。

（生徒1人あたり助成額）
3万円↓4万2千円）

新 保育人材への就労奨励金の

支給に向けた準備
133万円

保育人材不足の改善を図るため、新規就労および継続就労奨励金を支給する制度を令和6年度から開始するに当たり、制度の事前広報を行います。



新 ヤングケアラーと

その家族を支える対策の推進
440万円

市内における実態を把握するため、Webによる調査を行います。

また、ヤングケアラーに対する理解を深めるため、福祉関連事業者や教育関係者等を対象としたシンポジウムを開催します。

医療、福祉、暮らしを支えます

新 看護系大学等の設置検討

30万円
幅広い知識と技術を有する看護師等の確保および市外への若者流出の抑制を図るため、看護系大学等の設置の検討に向けたアンケート調査等を行います。

新 介護人材への就労奨励金の

支給に向けた準備
214万円

介護人材不足の改善や人材定着を図るため、新規就労および継続就労奨励金を支給する制度を令和6年度から開始するに当たり、制度の事前広報を行います。

新 市立南茅部病院の移転新築に

に向けた計画の策定
600万円

設置から50年近く経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、移転新築整備に向けた計画を策定します。

がん検診受診率の向上

919万円
受診率が低い傾向にある若い世代のがん検診の受診を促すため、新たに40歳を対象とした無料クーポンを発行します。

小規模公衆浴場への支援拡充

971万円
燃料高騰などの影響により、経営が逼迫していることなどから支援を拡充します。

新 市営住宅湯川団地への

共同浴場の設置・運営
2千872万円
湯川団地に隣接する廃業予定の公衆浴場を市が取得し、団地入居者をはじめとした市民の入浴環境を確保します。

新 特殊詐欺被害防止対策機器

購入への支援
100万円
高齢者への電話による特殊詐欺被害の防止のため、対策機器の購入に係る費用の一部を助成します。

新 インクルージョン推進経費

40万円
インクルージョンの推進に向け、すべての人が多様性を認め合いながらファッションを自由に楽しむことができるイベントを開催します。

新 市長と女性の

意見交換会の実施
30万円
女性の視点からの意見を市政に反映させるため、市長が直接女性の意見を聴く場を設けます。

新 危険な老朽空家の解体推進

2千57万円
空家等対策の強化を図るため、対象地区の実態調査を行います。

経済・観光を再生します

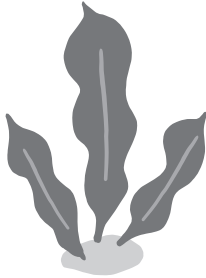
新 新幹線の函館駅への
乗り入れ調査
3千774万円

新幹線の函館駅乗り入れに
関する整備費や課題、乗り入
れ効果などの調査を行います。



新 天然コンブの資源回復に
向けた漁場の整備ほか
5千937万円

天然コンブ資源の回復を図
るため、投石や岩盤清掃、ウ
ニ密度管理などの漁場整備を
行うほか、ウニの品質向上を
図るため、生育不良のウニの
蓄養試験を行います。



新 奨学金返還支援制度の創設
289万円

若者人材の確保・定着を図
るため、市内中小企業等に正
社員として就職する者に対
し、奨学金返還を支援する制
度を令和6年度から開始する
にあたり、制度の事前広報等
を実施します。

新 サテライトオフィスの
開設促進
1千650万円

市外企業が拠点開設を検討
する際の現地視察経費や、拠
点開設にかかる整備費用に対
する補助制度を創設します。

ゼロカーボンシティの
実現に向けた取り組み
1千707万円

太陽光発電システム等の設
置に対する補助を拡充するほ
か、省エネ性能の高い家電
(エアコン・冷蔵庫)への買
い換えキャンペーンを実施し
ます。



ふるさと納税寄附拡大に
向けたプロモーションの強化
4億2千640万円

寄附金の増加を図るため、
各種プロモーションの強化を
図ります。

新 観光地域づくり法人
(DMO) 設立に向けた検討
70万円

官民の幅広い連携により観
光地域づくりを推進する法人
の設立に向けて、先行事例の
調査を行います。



新 欧米向け観光プロモーション
の強化
200万円

欧米市場に対する観光プロ
モーションの強化に向け動向
調査を実施します

文化・スポーツ振興で未来を育みます

新 (仮称)総合ミュージアムの
整備に向けた検討会の設置
100万円

「(仮称)総合ミュージア
ムの整備にあたっての基本的
な考え方(たたき台)」の成
案化に向け、各分野の団体と
の検討会を実施します。

新 文化芸術団体への活動支援
449万円

補助制度を新たに設け、文
化芸術活動団体の自主的かつ
活発な活動の支援を強化しま
す。

新 アーバンスポーツ等の
普及振興
20万円

スケートボードやスポーツ
クライミングなどのアーバン
スポーツ、モルックなどの二
ユースポーツ等の普及振興策
についての意見を収集するた
め、競技ごとに懇談会を実施
します。

